

DHF - HPD10 - 7610  
ウエルドライン 不適合の件

品質保証部		
責任者	調査	作成
浜野	石並	布瀬

拝啓

貴社益々ご清栄の段、大慶に存じます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。掲記ご指摘についての弊社見解を、以下にご報告致します。ご査収の上、宜しくお取り計い下さいます様お願い申し上げます。

敬具

記

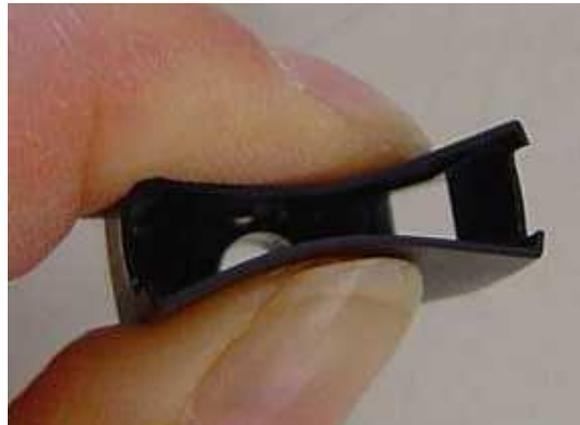
### 1. ご指摘内容

貴社に納入致しました掲記コネクタに於いて、表面カバーの中央部にヒビが入っている様なものが多いが不良ではないかとのご指摘を受けました。 **多いが"ではなく"全て"**

写真1 ご返却品



写真2 潰し確認



### 2. ご返却品確認結果

ご返却品を確認した結果、ご指摘の箇所はウエルドライン（金型に樹脂が流れ込んだ時に樹脂同士がくっつく場所）である事が判りました。

成形品の場合、ヒケ（充填不足）の発生を防止する為樹脂圧を上げるとバリが発生しやすく、また、樹脂の量も多く使う事になります。そこで、ヒケが発生しないすれすれの線で成形条件をコントロールする為、ヒケはなくても当該品の様に樹脂の接合線（ウエルドライン）が発生する事になります。また、写真2の様に指で潰してみましたが、ウエルドラインからの割れ発生はありませんでした。

### 3. 弊社見解

ご返却品は成形時のウエルドラインが見えますが、潰し確認では割れの発生はありませんでした。依って、通常の取扱いで割れの発生はしない事より使用上特に問題はなく良品と判断致します。

しかしながら、当該品は外装部品であり外観上目立つ事より、今後の成形時にはウエルドラインの発生を最小限にする様成形条件を検討致します。

**現時点では（2010.01.14以降発注分も）改善されていません。**

以上